

平成 19 年 1 月 16 日

2007 年度 第 1 回 日本 J/24 クラス協会 理事会議事録

出席者:早川氏、西畑氏、高野氏、横田氏、宮崎氏、畠山氏、(中澤氏)

欠席者:越智氏、町田氏

日時 :平成 19 年 1 月 13 日(土) 12 時~18 時

場所 :株式会社ベーシックシステム 会議室

報告者:畠山知己

議題:

1. [事務関連報告](#)(畠山、早川、西畑)
2. [計測関連報告](#)(高野、横田)
3. [ホームページ\(HP\)関連の報告](#)(畠山)
4. [規約関連](#)
5. [理事改選](#)
6. [全日本選手権\(2008 年度以降\)](#)
7. [各支部活動報告](#)
8. [その他](#)

1. 事務関連報告

- [J24 会員登録状況](#)
 - [会計報告](#)
 - [事務局](#)
 - [会員登録](#)
 - [銀行口座](#)
 - [他](#)
- J24 会員登録状況
2006 年度 J24 会員数は、正会員 83 名、準会員 181 名。
- 会計報告
2006 年度会計報告が行われた。

2005 年度 繰越金

科目	金額
繰越金 郵便局	333,021
繰越金 りそな銀行	9,594,595
組入れ 湘南信用金庫 定期	3,265,953
組入れ みずほ銀行 定期	2,437,416
合計	15,630,985

2006年 単年度収支（2006年1月1日～12月31日）

<収入>

科目	金額
会費（JSAF会費を含む）	2,086,000
セール ロイヤリティタグ	60,000
雑収入	3,444
利息	616
収入合計	2,150,060

<支出>

科目	金額
IJCA 会費	398,840
J24 国際会議（渡航費、通訳費等）	395,061
HP 運営（外注）	126,000
理事会	65,400
全日本選手権 協賛金	498,450
J24 会員登録作業費	44,229
JSAF 登録費	380,250
JSAF 特別加盟団体分担金	30,000
印鑑	5,250
日産マリーン（用途不明）（*）	3,030
手数料	19,950
支出合計	1,966,460

（*）事務局引継ぎ漏れのため調査不可能

単年度収支	183,600
-------	---------

次年度繰越金額

科目	金額
繰越金 郵便局	602,037
繰越金 リソナ銀行	15,212,548
合計	15,814,585

[事務関連報告のトップへ戻る](#)

○ 事務局

日産マリーンが事務局から撤退したため、協会内に登録事務局を新設。今後は、新事務局が会員登録作業を引き継ぎ実施していく。

[事務関連報告のトップへ戻る](#)

○ 会員登録

- (1) 会員証は、IJCA から毎年届く IJCA-No が入ったカードを流用して、会員証を発行する。
JJCA-No は、永久番号とする。

JJCA-〈種別〉〈個人番号〉

種別 A: 正会員

E: 準会員(関東)

T: 準会員(東海)

W: 準会員(関西)

K: 準会員(九州)

例) JJCA-A001

- (2) 関東支部は会員数が多いため、関東選手権(春季)前、もしくは年度早々に登録を完了してもらうよう、依頼する。
- (3) 九州支部は、ミッドウインター以前に登録してもらっているので慣例を継続していく。
- (4) 2006 年全日本選手権で大会中の会員登録受付を実施したところ、約 20 名あった。今後も実施していく方向で検討。
- (5) 2007 年度 IJCA 登録会員数は 252 名とする。

[事務関連報告のトップへ戻る](#)

○ 銀行口座

- (1) 現在、りそな銀行の口座にある預金の一部を定期預金に入れる。
- (2) 銀行口座を新たに 三菱東京 UFJ 銀行 へ設ける。
現在の銀行口座は、りそな銀行 横須賀支店 であるが、りそな銀行は都合よい地区に窓口がなく業務に支障が出ており、またキャッシュカードがなく窓口でないとな振込ができないため手数料が高い。

[事務関連報告のトップへ戻る](#)

○ 他

- (1) IJCA から送付される International Yearbook は、今後新事務局へ送付してもらう。
- (2) 全日本選手権の会計報告は、和歌山市の助成金が支払われ次第報告する。

[事務関連報告のトップへ戻る](#)

[トップへ戻る](#)

2. 計測関連報告

現状の計測は問題が多い(以下)。

- (1) 2006 年度のレガッタ計測では、簡易計測と称してフォアステイ、ジェイポイント、シアーラインを実施しなかった。
フル計測が必要であったボート 2 艇については部分計測を行い、艇体重量を測った程度であった。
今後このような事が無いように、計測という面でしっかり管理・計測を行うようにする。
- (2) 計測委員会を 4 月 14 日土曜日開催。
場所は関東、詳細は未定。
高野理事を中心に計測委員会を運営する。また、計測委員名簿も整理する。
- (3) 計測ジグの購入を検討。
J ボート社の公式計測ジグを購入してはどうかという案が出た。
購入の方向で、見積もりを問い合わせ、予算を検討する。
- (4) 計測マニュアルの改訂。
最新のクラスルールに則していないマニュアルを使用しているため改訂の必要があり、翻訳等の作業内容を検討する。
- (5) ITC(インターナショナル テクニカル コミッティー)について、どういう資格が必要か、具体的に IJCA に確認をする(畠山)。
- (6) JSAF 計測委員会が発足。
目的は計測のレベル・マニュアルの統一化などを図ること、またルール委員会

でのルールブック変更などの情報をいち早く伝達するため。
高野理事に担当をお願いする。

[トップへ戻る](#)

3. ホームページ(HP)関連の報告

- (1) 2006年12月末日で現在HP運営委託していた会社とは、契約を継続していない。
理由は、2007年から運営費用の値上げを希望されていたからである。
2006年5月以前に一度畠山が訪問して相談をし、その後の運営費用の見積をもらったが、継続するには高い費用を見積もらった為である。
- (2) 今後、関東支部のHPのような、常に動きのあるHPを目指す。(3)
- (3) HP運営会社を移管して運営するに当たり、関東支部 広報の平出氏に依頼を検討。
運営費用を含んだ形で、移管作業+サーバー費用+維持費用を含め依頼する。
- (4) リンク先を増やし、活発なHPにする。

[トップへ戻る](#)

4. 規約関連

- (1) 既存の規約を元に、規約改正案の検討を行った。
日産が事務局を撤退したため、事務局の所在地を変更する。

(現状)

第1章 総則
第2条(所在)
本協会は、協会事務局を日産自動車(株)に置く。

(規約改定案)

第1章 総則
第2条(所在)
本協会は、協会事務局をクラス協会会長宅に置く。
- (2) 上記(1)の規約改定案は、会員定期総会(2007年全日本選手権)にて報告する。

(3) 会費の見直しの意見があったが現状維持。

IJCA に習い、正会員・準会員の別を廃止し全員を一般会員とする、会費を一律に現正会員会費よりも安価にする、などいくつかの案が議案として出ていたが、2006 年度収支を鑑みると会費減少の原因になるため、当面会費は現状維持とすることがあらためて議決された。

(4) 事業年度の見直し(4 月～3 月)も検討されたが、IJCA の年度が 1 月～12 月のため特に変更の必要は無いとの意見が出て議決された。

[トップへ戻る](#)

5. 理事改選

(1) 規約から理事が不足しているので、関東支部から平出氏の推薦をして欲しい要望があった。また、監事もあらためて選出する。

(2) 関西支部の理事は、西畑理事から坂本理事に引継ぐ。
関東支部は、平出氏を理事として要請する。

(3) 2007 年度の理事は、以下となりました。

関東 : 畠山、町田
東海 : 横田、早川(事務局 会員登録兼任)
関西 : 越智、坂本
九州 : 宮崎、高野

(4) 2007 年度の役職は、以下となりました。

会長 : 畠山
副会長 : 宮崎、町田
会計 : 町田 (副会長兼任)
広報 : 未定 (関東支部 平出氏要請を検討中)

(5) 監事は、関西 中野氏と岩出氏の 2 名が推薦された。

[トップへ戻る](#)

6. 全日本選手権(2008 年度以降)

- (1) 2007 年は、関東で SYC(シーボニア・ヨット・クラブ)と共催できるように交渉中。
開催時期は 9 月第 3 週で打診している。
- (2) 2008 年は九州水域、2009 年は東海水域、2010 年は関西水域、2011 年は関東水域になる。
- (3) 日本 J/24 クラス協会として、今後新しい取組みを検討していく。
海外セイラーの招致、大学生、高校生の招致、海外ヨットクラブとの親善交流など。
- (4) レース志向になっているのは問題ないが、全日本選手権でいろいろな表彰をおこなっていく事で意見が出た。
今後、普及などを踏まえて、新しい表彰項目を増やしていく事を検討する。
表彰内容は、開催する支部に任せる事で議決された。

[トップへ戻る](#)

7. 各支部活動報告

○ 関東支部

1 月 11 日にフリーミーティングを開催。新しい体制の下、始動し始めた。

- (1) フリートレース 3 月 25 日、4 月 8 日、5 月 20 日、6 月 17 日、
7 月 8 日、8 月 19 日、11 月 18 日
- (2) 関東選手権 春 4 月 21・22 日、秋 9 月 8・9 日
- (3) ミッドサマーレガッタ 7 月 21・22 日
- (4) ダブルハンド レース 10 月 21・22 日
- (5) クリスマスパティー 12 月 14 日
- (6) Platu と合同で年 6 回一緒にレースをおこなう。
また Melges も関東選手権に参加予定あり。

○ 東海支部

2 艇のみで、活動しておらず、今後も目処が立っていない。

○ 関西支部

KYC の開催予定に従い実施していく。

- (1) KYC スプリングレガッタ 3 月 24・25 日
- (2) 定例レース
4 月 22 日、5 月 20 日、6 月 17 日、7 月 8 日、8 月 26 日、10 月 4 日
- (3) KYC WEEK 9 月 29・30 日

○ 九州支部

- (1) 2月11・12日ミッドウインターを開催。
- (2) 毎月フリートレースを実施する予定。

[トップへ戻る](#)

8. その他

- (1) 次回開催は全日本選手権です。定期総会も一緒におこないます。
- (2) 計測委員会も事前にあるので、詳細は後日連絡します。

[トップへ戻る](#)

以上